

「第3回沖縄空手世界大会委託業務」企画提案にあたっての留意事項

「第3回沖縄空手世界大会委託業務」企画提案にあたって、現時点で想定している基本方針は以下のとおり。

1 大会目的

世界中の沖縄空手の愛好家が「空手発祥の地・沖縄」に集結し交流を深める場を創出するとともに、沖縄で先人たちが体系化し今日まで受け継がれてきた沖縄空手の技や精神性を今後も正しく保存・継承し、沖縄空手の将来にわたっての振興を図ることを目的に、沖縄空手世界大会を開催する。

2 大会名称

令和8年開催の大会名称は、「第3回沖縄空手世界大会 OKINAWAKARATE WORLD FESTIVAL ～DEMONSTRATION and TOURNAMENT～」とする。

3 基本方針

- (1) 沖縄空手世界大会実行委員会を中心に、沖縄空手の各流会派における協力と責任のもと、関係機関・団体等と連携し、開催する。
- (2) 本県において体系化された沖縄空手の特性を生かした大会とする。
- (3) 沖縄空手の普及・継承・発展及び国内外の空手愛好家との交流の拠点づくりに必要な諸事業を実施する。
- (4) 大会参加者に、本県の伝統文化や豊かな自然などを紹介する等、本県の国際交流及び観光振興に寄与できる大会とする。
- (5) 国際性豊かな人材育成に寄与できる大会とする。

4 内容

- (1) 競技大会：少年少女（令和8年4月1日現在、6歳以上14歳以下）
- (2) 演武大会：一般（令和8年4月1日現在、15歳以上）
- (3) セミナー（競技大会とは別の日程で一日開催とする。（開催場所は要検討））
- (4) 開閉会式
- (5) 交流会（屋内の涼しい場所での大人数の収容ができる会場を確保し、宗教上の食習慣に配慮した飲食を提供する。）
- (6) 空手ウィーク（大会期間を含めた一週間、沖縄空手会館の無料開放など。）
無料開放された沖縄空手会館を活用した、空手愛好家による稽古などを通じた交流促進や民間独自の空手関連イベント（沖縄空手ゆかりの地ツアーや空手歴史講座や映画祭などを想定）との連携促進により、大会参加者を含めた空手愛好家とともに、多くの沖縄県民が空手に親しむ契機となる企画を提案すること。
- (7) 空手フェスティバル（競技時間の待ち時間を活かし、気軽に参加できる伝統空手を重視した内容を提案すること。）

- (8) 沖縄空手会館や那覇市内（県庁前、首里城前）と会場を結ぶシャトルバスの運行
- (9) その他基本方針の趣旨にふさわしい催事

5 主催

沖縄空手世界大会実行委員会、沖縄県、一般社団法人沖縄伝統空手道振興会

6 後援

国関係機関、県内市町村、県内マスコミ各社等へ依頼する。

7 実施期間

令和8年7月下旬から8月のうち、予備日を含む9日間以内とする。

8 会場

沖縄コンベンションセンターや沖縄空手会館など、大会開催に必要な設備や駐車場を有する施設

9 推進体制

業務の準備及び実施については、沖縄県、一般社団法人沖縄伝統空手道振興会及び県内の経済団体、マスコミ等の関係機関・団体をもって沖縄空手世界大会実行委員会を組織して大会を推進する。